

大学受験難関世界史

早稲田・慶応・上智・同志社などの超難関大学を目指す方のための教材です。難関校を中心とした過去問を収録し、短期間での学習が可能です。国公立 2 次試験でも、世界史で大幅な得点アップをねらう方は、ここまでマスターする必要があります。

※「大学受験世界史」のマスター者を対象としています。

■□■ 目次 ■□■

各単元内の学習項目は、TLTソフトの解説もしくは問題データの一部を自動的に抽出したものです。

1. 人類の発生と進化

直立二足歩行、道具の作製・使用などの特徴を持つ…
 約 70 万年～40 万年前には猿人の倍近い脳容積…
 約()万年前から旧大陸の広い範囲に分布…
 現在の人類と同種である現生人類は、()…

2. オリент世界の統一

農耕・牧畜が最初にはじまった場所は、現在のイ…
 メソポタミアに文明の扉をひらいたシュメール人…
 アッカド王国崩壊後、セム語族の()人が…
 小アジアでは、インド＝ヨーロッパ語族の(…
 エジプトでは前 3000 年ごろ()王がノ…
 エジプトでは、靈魂の不滅を信じてミイラをつく…
 前 13 世紀～前 12 世紀ごろからフェニキア人は…
 セム語族に属するアッシリアは、前 15 世紀に(…
 前 612 年()滅亡後、エジプト・新バビ…

3. ギリシア世界

前 20～前 12 世紀にかけてオリент文明の影…
 前 15～前 13 世紀ごろギリシア人の一派である…
 ミケーネ文明は小アジアのトロヤ文明などを滅ぼ…
 ポリス成立の時期にギリシア人の海外発展を特色…
 アテネでは、平民が()としてポリス防衛…
 アテネでは、()が、僭主防止の陶片追放…
 前 500 年、イオニア地方のギリシア人植民市(…
 ペルシア戦争後アテネでは、()同盟を結…

スパルタの農業を中心とする生産活動は、(…

4. ヘレニズム時代

()2世の率いるマケドニアは、前 338…
 アレクサンドロス大王は、前 333 年()…
 アレクサンドロス大王の死後、その領土は帝国の…

5. ローマ帝国とキリスト教

前8世紀ごろイタリア人の一派である()…
 前5世紀には、ローマ最古の成文法である(…
 地中海進出をはかるローマは、フェニキア人の植…
 ローマでは、ポエニ戦争により自作農が没落して…
 前 60 年ポンペイウス、クラッススとともに第1…
 オクタヴィアヌスは、元老院から()(尊…
 96 年～180 年にかけての()時代にロ…
 3世紀にはいるとローマ帝国は動揺しはじめるが…
 4世紀初頭に即位した()帝は、キリスト…
 313 年のミラノ勅令以降キリスト教会内部では…
 キリスト教公認後、一時期()帝のような…

6. 古代イランの変容

セレウコス朝が衰退すると、中央アジアにおいて…
 3世紀初頭パルティアを倒して建国した(…
 ササン朝ペルシアは、5世紀になると中央アジア…

7. 古代インドの統一

アーリヤ人は前 2000 年～前 1500 年ごろ(…
 ガンジス川流域を征服したアーリヤ人は、(…

アーリヤ人の社会では() (種姓)と呼ば…
前()世紀ごろには、バラモンの中からも…
前317年ごろに、チャンドラグプタは(…
マウリヤ朝第3代のアショーカ王は、()…
マウリヤ朝が衰退した後、1世紀の半ばに大月氏…
クシャーナ朝時代に栄えた仏教は万人の救済をめ…
()朝が滅んだあとガンジス川流域にグプ…
仏教はグプタ朝時代には、民衆から離れて、代わ…
()世紀の初め、北インドを統一したのは…

8. 東南アジア諸民族の活動

インドシナ半島ではインド文化の影響下に、国家…
6世紀にクメール人が建国した()は、9…
東南アジア島嶼部では、7世紀のスマトラに(…
13世紀になると()の侵入によって島嶼…

9. 古代中国の統一国家

新石器時代の中国華北地方に、肥えた土壌である…
中国において現在確認できる最古の王朝は、前1…
周は()省の渭水盆地におこり、鎬京を都…
前8世紀、周は遊牧民()に攻められ、首…
戦国の七雄のうち都を()に移した秦が中…
始皇帝による急激な変革は、民衆を苦しめて反感…
漢王朝は、前154年におこった()の乱…
漢王朝第7代の武帝は、張騫を大月氏国に派遣し…
漢王朝は、武帝の死後()や宦官の争いが…
後漢の西域都護である()は甘英を大秦国…

10. 北方民族の活動

前7～前4世紀ごろ南ロシアの草原地帯で活動し…
2世紀中ごろにはモンゴル系と推定される(…
6世紀後半、突厥は、ササン朝ペルシアと結んで…

11. 東アジア文化圏の形成

184年の黄巾の乱後、曹操が勢力を拡大しその…
263年魏は蜀を滅ぼしたが、まもなく魏の將軍…
晋(西晋)滅亡後、その一族である()が…
五胡十六国の華北における混乱は、鮮卑の拓跋…
北魏は第3代皇帝()のとき華北を統一し…

秦代からはじまった中央集権体制は官吏の登用が…
魏につづいて、()では占田・課田法が実…
6世紀末、北周の外戚()は隋を建て、や…
隋の第2代()は、南北の軍事・経済的統…
618年() (高祖)によって都を長安に…
唐は、755年に勃発した安史の乱を()…
唐では、8世紀後半から租庸調制に代わって、(…
塩の密売商人であった()は、875年山…

12. 五代十国から宋の成立

907年、節度使の朱全忠は()を倒して…
五代十国時代になると、唐代に支配層であった(…
960年()は、開封を都として宋王朝を…
宋の対外消極策から北方民族がしばしば南下し、…
10世紀のはじめに東モンゴリアで遼を建国した…
11世紀前半、西夏を建国したのはチベット系の…
王安石の改革で、とくに旧法党が反対したのは、…
12世紀はじめに、中国東北地方で()の…
1125年金に滅ぼされた遼の王族の一人耶律大…
靖康の変以降、皇帝の弟である高宗が江南に逃れ…
1142年南宋と金との和議が成立し、(…
現在の江西省の()は、宋代から窯業地と…

13. モンゴル民族の勃興

13世紀はじめ、テムジンはクリルタイでチンギ…
()は、ドイツ・ポーランド諸侯の連合軍…
チンギス=ハンが4人の子に与えた各地域には4…
4ハン国は、やがて大ハン位をめぐる争うよう…
フビライ=ハンは、1279年、()を滅…
元は()を廃止したため、中国の士大夫階…
朝鮮では918年王建が建てた()が興り…
ベトナムでは、11世紀にはいと()朝…

14. 明・清とその周辺国家

()は元末の紅巾の乱のなかから頭角をあ…
明では農村に()を施行し、徴税の徹底と…
永楽帝は、北元すなわち()部(韃靼)が…
15世紀になると、オイラート部が強大となり、…

元末の14世紀ごろ、朝鮮や中国の沿岸に出没し…
里甲制はしだいにゆきづまってきたが、16世紀…
万暦帝の後半には宦官を重用して政治が乱れ、(…
建州女直の()が()を建国したの…
清の第4代皇帝()は、()の乱を…
清では、雍正帝のときに創設された()が…
清は、中央政府の要職は定員を()数とし…
明では、貨幣経済の発展にともない、各種の税を…
チベットでは14世紀()がラマ教を改革…
朝鮮では、倭寇を破って名声を高めた()…
ベトナムでは、永楽帝の侵攻を撃退した(…
14世紀半ばごろタイの()朝はビルマ(…

15. イスラーム世界の成立

アラビア半島の商業都市()で、7世紀に…
イスラーム国家の政教両権を握る首長はカリフ(…
アラブ人が征服によって形成した帝国は(…
アラブ人支配下の異教徒は改宗しても、ジズヤ、…
アッバース朝は、ティグリス河畔に円城都市を建…
()が成立すると、ウマイヤ朝の一族はイ…
北アフリカでは、10世紀初頭シーア派勢力によ…
874年に中央アジアで最初のイラン系のイスラ…
9世紀後半に自立したイラン系王朝サーマーン朝…
中央アジアでトルコ人ムスリムの辺境戦士団とし…
セルジューク朝が12世紀の中ごろ滅ぶと、中央…
12世紀、ダマスカスで正統神学を修めたクルド…

16. イスラーム帝国の発展

11世紀にハム系の遊牧民である() (ム…
現在知られているアフリカ最古の黒人国家は(…
イベリア半島最後のイスラーム王朝となったのは…
ヨーロッパ世界は、東方イスラーム世界に対する…
チャガタイ=ハン国より自立した()は、…
ティムール帝国が崩壊すると、イランには(…
11世紀()朝は、時のカリフから(…
オスマン帝国は、1299年()を都とし…
オスマン帝国の最盛期は、16世紀の()…

1517年オスマン帝国は、エジプトの(…
8世紀にはインドにはじめてイスラーム教徒が侵…
インドのイスラーム王朝は、13世紀のはじめに…
ムガル帝国は、1526年ティムールの子孫であ…
ムガル帝国の領土が最大に達したのは()…

17. 東西ヨーロッパ世界の成立と発展

()沿岸を原住地とするゲルマン民族は、…
西ローマ帝国は、ゲルマン諸族と連合して、フン…
ガリア北部に広がっていたフランク族を統一し、…
ビザンツ皇帝レオン3世が発布した() (…
カール=マルテルの子ピピン(ピピン3世)は、…
ピピンの子カール大帝は、北イタリアの(…
フランク王国の分裂後、東フランク王国では、1…
ゲルマン民族の一派であるノルマン人は、(…
ノルマンディー公ウィリアムは、()年、…
スラヴ人地域にはいったノルマン人の一派(ルス…
ローマ=カトリック教会は、6世紀以降ゲルマン…
ベネディクトゥスがイタリアの()に創設…
叙任権闘争は1122年の()協約によっ…
ビザンツ帝国はゲルマン人の侵入を最小限におさ…
8世紀前半のビザンツ皇帝()3世は、イ…

18. 十字軍と中世都市の発達

()朝に領土を奪われたビザンツ皇帝(…
第1回十字軍は、パレスティナに()王国…
第4回十字軍は、聖地回復という目的を大きくは…
十字軍時代に聖地の防衛と巡礼者の保護を目的と…
十字軍遠征の結果、遠隔地商業がさかんとなり、…
()を盟主とするハンザ同盟は、ロンドン…
市政を独占していた大商人中心の商人ギルドに対…
14世紀には、()の流行によって農村人…
14世紀後半には、税の軽減や農奴制の廃止を求…
フランス国王フィリップ4世は、聖職者への課税…
神聖ローマ皇帝ジギスムントは()公会議…

19. 中世ヨーロッパ諸国家

()朝のイギリスは、フランスの西半分を…

ジョン王の子()3世も失政が続いたため…
フランスでは、987年に()朝が開か…
フィリップ4世は、ローマ教皇()8世と…
フランスでカペー朝が断絶し、()家のフ…
百年戦争は、()黒太子率いる長弓隊の活…
イギリスでは百年戦争の直後、()戦争と…
神聖ローマ帝国では、歴代の皇帝が()政…
神聖ローマ皇帝()4世は、1356年、…
中世末、イタリアでは、皇帝党()と教…
イベリア半島では、キリスト教徒による国土回復…
()王国は、14世紀前半にカシミール大…
西スラヴ族に属する()人は、9世紀にモ…
バルカン半島の北部を支配していた南スラヴ系の…
ロシアは、13世紀なかば以降、モンゴル民族の…

20. ルネサンスと宗教改革

ルネサンスは、()家が栄えた北イタリア…
ルネサンス期には様々な技術革新がおこり、三大…
教皇()10世は、()大聖堂の改…
ルターは、ライプチヒにおける討論で教皇の権威…
1521年、神聖ローマ皇帝()5世は、…
ルターは、西南ドイツでおこった農民戦争が(…
スイスの()ではツヴィングリが宗教改革…
カルヴァンは()説を唱えて勤勉・禁欲を…
イギリス王()8世は、王妃との離婚問題…
宗教改革の進展に直面したカトリック教会は、北…

21. 大航海時代

()帝国が地中海貿易に進出するようにな…
海外への進出に先駆けたのは、()を完了…
天文学者()の地球球体説を信じるコロン…
()年、ヴァスコ＝ダ＝ガマはインド西岸…
ポルトガルは、1510年にインドの()…
ポルトガルの提督()が漂着したブラジル…
スペイン人は、ボリビアの()銀山をはじ…
新大陸から大量の銀や金が流入して、ヨーロッパ…

22. 主権国家と絶対主義の成立

15世紀末より、イタリアを舞台にハプスブルク…
ハプスブルク家は、巧みな婚姻政策によりスペイ…
()2世が統治するスペインは、1571…
スペインの統治下にあったネーデルラントでは、…
フェリペ2世は、オランダ独立を支援するイギリ…
イギリスは、()1世のもとでスペインの…
フランスでは、ユグノー戦争(1562～98年…
ドイツでは、()の新教徒の反乱を機に三…
三十年戦争は()年の()条約で終…

23. 絶対王政と侵略戦争

絶対君主やこれに仕える学者は、絶対王政を正当…
フランスでは、ルイ13世の治世の1615年に…
フランスでは貴族による()の乱がおこさ…
コルベールの財政にささえられて、ルイ14世は…
ルイ14世の孫がスペイン王()5世とな…
1701年に正式に王号を許されたプロイセン王…
プロイセン王()2世は、マリア＝テレジ…
プロイセン王フリードリヒ2世は、フランスの文…
()朝治下のロシアでは、17世紀後半、…
ロシアのピョートル1世は、北方戦争(1700…
啓蒙専制君主とされるエカチェリーナ2世は、(…

24. イギリス市民革命と植民活動

イギリスでは、1603年に()1世が即…
ジェームズ1世の子の()1世も同様の政…
チャールズ1世は、1639年に()でお…
国王チャールズ1世が武力で議会をおさえようと…
議会派のピューリタンの内部では穏和な(…
クロムウェルは、財産と参政権の平等を主張する…
クロムウェルは、1653年に終身の()…
チャールズ2世は、専制政治をしき、ピューリタ…
チャールズ2世の弟()2世も旧教の復興…
()年、メアリとウィリアムが議会の提出…
イギリスでは、1714年に()1世が即…
オランダはジャワの()(現在のジャカル…
イギリスは、三次にわたる英蘭戦争を通じてオラ…

イギリスは、東インド会社書記()の活躍…

25. アメリカの独立

北アメリカの東海岸には、1732年までにイギ…

1765年、本国政府が()を發布すると…

植民地の代表は、1774年に()で最初…

1776年1月に出版されたトマス＝ペインの『…

植民地軍は苦戦をつづけたが、フランスの(…

1781年、米仏連合軍は()の戦いで決…

26. フランス革命とナポレオン

革命前のフランス絶対王政下の社会体制は、旧制…

特権身分への課税に反対する貴族は()の…

国王が武力で議会をおさえようとしたため、パリ…

国王が人権宣言の承認をこぼむと、10月にパリ…

1791年、()逃亡事件がおこると、国…

全国から集まった義勇兵とパリ民衆による(…

ルイ16世の処刑をきっかけにイギリス首相(…

ジャコバン派の()は公安委員会を拠点に…

ナポレオンは、1798年に()に遠征し…

ナポレオンは、1802年に()の和約に…

1805年、第3回対仏大同盟が結成され、(…

1806年、ナポレオンは遠征途上の()…

プロイセンでは、シュタインや()が農奴…

27. ウィーン体制とその崩壊

オーストリア外相()を議長として始まっ…

ウィーン会議の結果、神聖ローマ帝国は再建され…

イギリスは戦争中に占領した旧()領のセ…

ドイツでは学生組合()が自由と統一を求…

オスマン＝トルコの支配下にあった()で…

ラテンアメリカでは、1804年に()が…

フランスでは、()10世が聖職者や貴族…

イギリスでは、1828年に()が廃止さ…

イギリスでは、()年に()党の内…

自由貿易政策がとられるイギリスでは、1833…

フランスでは、1848年に()内閣が選…

第二共和政になって最初に行われた4月の総選挙…

1848年、ウィーンでも()革命がおこ…

1848年、プロイセンの首都()でも三…

28. イタリア・ドイツの統一

イタリアでは、1849年に青年イタリアの(…

1860年、カヴールはサヴォイアとニースを(…

プロイセンは、()らの努力により183…

プロイセンは、1864年にオーストリアと結ん…

ナポレオン3世は()王位継承問題を機に…

ドイツ帝国初代宰相として独裁的な力をふるった…

ナポレオン3世退位後のフランスでは、共和派の…

ヴィクトリア女王の治世に繁栄をとげたイギリス…

ロシアは()＝トルコ戦争でトルコを支援…

ロシアは()問題をきっかけに、1853…

クリミア戦争中に即位した()2世は、国…

ロシアは、1877年に再びトルコと開戦してこ…

ベルリン会議では、サン＝ステファノ条約の破棄…

アメリカ合衆国は、1803年フランスから(…

合衆国の民主政治は第7代大統領()のも…

1860年、()党のリンカンが第16代…

29. 帝国主義

ドイツでは1888年に()2世が即位し…

イギリスは‘()ある孤立’を守ってきた…

アフリカ縦断政策をとるイギリスとアフリカ横断…

日露戦争の敗北でロシアの東進が止まったことに…

ドイツのヴィルヘルム2世は、1905年モロッ…

バルカン半島では、ロシアのかかげるパン＝(…

1912年にセルビア・()・ブルガリア…

イギリスは、保守党のディズレーリ首相が187…

イギリスでは、1906年に()党が結成…

フランスでは、1887～89年に元陸相(…

ドイツでは、1890年に()法が廃止さ…

ロシアでは、1898年にロシア社会()…

()戦争中の1905年、血の日曜日事件…

19世紀末、合衆国は()大統領のもとで…

マッキンリーの次の()大統領も、(…

30. 第一次世界大戦とロシア・ドイツ

1914年、オーストリアは()で皇太子…
日本は()同盟を理由に協商国側について…
()年、ロシア革命がおこり、新しく成立…
1919年に開かれた()講和会議では、…
1919年6月に調印されたヴェルサイユ条約に…
ドイツ以外の敗戦国も連合国と個別に講和条約を…
第一次世界大戦後、()の精神によりヨー…
第一次世界大戦の長期化にともない食糧や物資が…
三月革命を知ったレーニンはスイスより帰国する…
1917年11月、ボリシェヴィキは武装蜂起し…
レーニンは、憲法制定議会の選挙で()党…
対ソ干渉戦争が始まると、ソヴィエト政府は(…
ソヴィエト政府は1921年から戦時共産主義に…
1922年、ロシア・()・白ロシア・ザ…
ロシア革命の影響下にドイツでも()(評…

31. ヴェルサイユ、ワシントン体制

合衆国大統領()の提唱で1921~22…
ドイツの賠償金の不払いを理由に、フランスはベ…
1928年、米国务長官()と仏外相ブリ…
第一次世界大戦を境に、()国から(…
合衆国は、1924年に()案を成立させ…
イギリスでは、大戦中の1916年に()…
イギリスでは、1924年にはじめて()…
ヴァイマル共和国と呼ばれたドイツでは、社会民…
ドイツでは、1923年に首相兼外相となった(…
イタリアでは、1922年()党のムッソ…
ハンガリーでは()を指導者とするソヴィ…

32. 世界恐慌と第二次世界大戦

1929年10月、合衆国で大恐慌が発生し、ド…
ローズヴェルト大統領は、農産物価格の引き上げ…
世界恐慌中、イギリスでは()内閣が(…
1931年の()憲章でカナダ・南アフリ…
フランスでは、モスクワで開催された()…
ヒトラーの率いるナチス(国家社会主義ドイツ労…

()年1月に首相となったヒトラーは、国…
1933年に国際連盟を脱退したドイツは、35…
ドイツは、1935年に()への侵略を強…
1936年、スペイン内戦が始まると、ヒトラー…
ドイツは、1938年に()を併合し、さ…
1939年8月ドイツは()と不可侵条約…
第二次世界大戦が始まると、ソ連は独ソ不可侵条…
フランスは1940年6月に降伏したが、(…
ドイツは、1941年6月に突如として(…
()の戦いで独軍を壊滅させたソ連は、ス…

33. 西アジア世界の民族運動

ヨーロッパ列強の圧迫を受けたオスマン帝国は、…
オスマン帝国では1908年のサロニカ革命で(…
セーヴル条約に反対する()は、アンカラ…
ケマル=パシヤは、1924年に()制を…
オスマン帝国の属州であったエジプトは、18世…
エジプト政府は、フランス人技師()の指…
エジプトでは1918年に()党が結成さ…
オスマン帝国の支配下にあったアラビア半島では…
イギリスは、1915年にアラブ人に対する(…
第一次世界大戦後、()とレバノン…
イランでは、1796年にテヘランを首都として…
イランでは、1891年にイギリス資本の横暴に…
大戦中に英露両軍に占領されていたイランでは、…

34. 東南アジア世界の民族運動

1757年の()の戦いに勝利したイギリ…
1857年、東インド会社の()(インド…
インドにおける民族意識の高まりをおそれたイギ…
イギリスは、1905年に反英運動の中心地であ…
大戦中にインドの自治権を約束していたイギリス…
1920年代にはインド国民会議派に()…
ベトナムでは、1802年に阮福映がフランス人…
フランスは、1862年の()条約でコー…
清仏戦争に勝利したフランスは、1885年の(…
イギリスは、ペナン・マラッカ・シンガポールに…

オランダ領のジャワでは、総督()のもと…
フィリピンでは 19 世紀末に()が独立運…

35. 列強の中国への進出

イギリスは、18 世紀以降中国から大量の(…
アヘンの密輸により中国から大量の()が…
林則徐がアヘンを没収・廃棄すると、イギリスは…
清は 1843 年の虎門寨追加条約で()権…
宗教結社()の創始者()は、18…
イギリスは、1856 年にフランスとともにアロ…
太平天国の乱は 1864 年に平定され、このとき…
日本は 1875 年の()事件をきっかけに…
朝鮮農民の間には崔済愚が創始した()が…
日本は下関条約で遼東半島・()・澎湖諸…
19 世紀末、列強の中国分割は本格化し、(…
列強の侵略に直面した中国では、立憲君主政の確…
中国では、19 世紀末に()運動とよばれ…
義和団が北京に侵入すると、保守派が実権を握る…
日露戦争の講和条約である()条約で、日…

36. 中国の民族運動と新国家の成立

清朝は、1905 年に()を廃止し、08…
1911 年、清朝政府が外国からの借款のため民…
1912 年 1 月、()で孫文を臨時大総統…
清朝滅亡後に北京で臨時大総統となった袁世凱は…
1915 年に()は雑誌『新青年』を刊行…
日本は第一次世界大戦中の 1915 年に、中国の…
1919 年、孫文は中国国民党を組織した。一方…
孫文の死後、中国国民党の指導者となった(…
1928 年に北伐を再開した蒋介石は、奉天派の…
中国への侵略をはかる日本軍は、1931 年 9 月…
国民政府軍に瑞金を包囲された紅軍は、1934…
1937 年 7 月、()事件を機に日中戦争…
日中戦争の長期化に苦しむ日本は、()建…
蒋介石は、1943 年 11 月、米・英首脳と(…

37. 戦後世界①

第二次世界大戦後の平和構想は、すでに 1941…

イギリス元首相()は 1946 年に、「バ…
1947 年、アメリカが()=プランを発…
1948 年に()で共産党中心の政権が誕…
ドイツは()協定にもとづき連合国によっ…
1949 年に毛沢東を人民政府主席とする中華人…
ソ連共産党第一書記の()は、()…
1952 年、フランス外相()の提案に基…
1959 年に()の率いるキューバ革命が…
東欧社会主義国のうちユーゴスラヴィアは、マー…
西ドイツでは 1969 年に()党の(…

38. 戦後世界②

1948 年、()を大統領とする大韓民国…
ベトナムでは、1945 年 9 月に()を大…
北緯()度線を境界に南北に分断されたベ…
アメリカでは、ベトナム反戦運動が高まるなかで…
ソ連が平和共存路線をうちだすと中国はこれに反…
1954 年、ジュネーブ会議の休会中に、中国の…
()年のパレスティナ戦争に敗れたエジブ…
1967 年の第 3 次中東戦争で圧勝したイスラエ…
アフリカでは、1957 年に()が、58…

39. 古代地中海世界の文化

クレタ文明のクノッソス宮殿の遺跡は、イギリス…
ミケーネ文明における線文字 B は、1952 年に…
海洋民族であった()人は単純なアルファ…
エジプトの多神教の主神は()で、中・新…

40. 古代中国文化(春秋・戦国～唐)

秦に警戒を強めた東方六国の同盟を唱えたのは(…
孔子は、()国に生まれ、その言行録を『…
秦の政治家で、孝公に仕えた法家思想の人は(…
前漢では、第 7 代皇帝()が五銖銭を鑄造…
漢代には、馬融、()らにより()…
4 世紀初め、華北にやってきた西域僧()…
仏教の普及とともに仏像・仏寺も盛んにつくられ…
北魏で道教を大成した()は、新天師道を…
画家()は、『女史箴図』を描いた。東晋…

唐の時代の詩人で、後世“詩仙”と呼ばれたのは…
唐の時代、文章において韓愈と()の二大…
『五経正義』は()が中心となって経書解…
()は、ヴァルダナ朝後の混乱したインド…

41. 宋～清の文化

宋代には華夷の別と()思想が強まり、朱…
時代の名にちなみ宋学と呼ばれる新しい儒学は、…
朱子学において、人の性においては理を本然の性…
宋代には歴史学が発達し、司馬光は『()…
唐宋八大家の一人で『赤壁の賦』で有名なのは(…
ヴェネツィア出身でピライに仕えたのは(…
王実甫の作で元曲の代表的作品は『()』…
郭守敬のつくった()は、のち日本にも影…
金の時代、華北を中心に成立した融合宗教は(…
明代では、洪武帝により()が国家の教学…
明代に薬物に関する総合書は『()』、農…
清代に()は『皇輿全覧図』を作成し、『…
明末からおこった実証を主とする()学は…
考証学以上に経世実用を説いた学問は()…
康熙帝時代は漢人の学者、文人を優遇して、事項…
宣教師() (郎世寧)は、北京のバロック…
孔子崇拜とキリスト教布教の問題は()と…

42. イスラーム文化

イスラーム教と()語に被征服民族文化が…
『() (王の書)』の著者はフィルドゥー…
()宰相が建設したのは、ニザーミーヤ学…
『世界史序説』を著したのはイブン=()…
神学者イブン=() (アヴィケンナ)は医…

43. ギリシア・ヘレニズム文化

()は『オデュッセイア』を著し、ヘシオ…
前5世紀ギリシアに悲劇作家アイスキュロス・ソ…
‘歴史の父’と呼ばれるのは()で、(…
ギリシア文化の学問の分野では、イオニアの都市…
ギリシアの哲学者であり、原子論的宇宙論で知ら…
弁論・修辞の職業的教師は自らを()とい…

プラトンの高弟で()の師でもあったアリ…
ヘレニズム文化は()文化とオリエント文…
キプロス島出身の()は、アテネで学び禁…
浮体の原理を発見したのは()であり、太…

44. ローマ文化

()は『アエネイス』の作品で知られる。…
前2世紀の史家()は、()論に立…
()の『ゲルマニア』は、カエサルの記録…
禁欲を強調するストア派では、()帝の師…
後世に大きな影響を与えたローマ法が、初めて成…
古代ローマ文化において、自然科学の分野では(…

45. 中世の文化

古代末期のヨーロッパでは、「()は神学…
神学はカール大帝時代に学僧()が指導者…
神学は12世紀中ごろ、ギリシア哲学を取り入れ…
大学は、教皇や皇帝・国王から()状を得…
イタリアの()大学は、法学を中心に発展…
西ヨーロッパ中世美術に大きな影響を与えたのが…
13世紀に最盛期を迎えた()様式はステ…
ロジャー＝ベーコンは観察や実験による経験を重…

46. 近代の文化

ルネサンスは14世紀に() (国名)から…
ダンテの叙事詩『()』は、トスカナ語で…
ミケランジェロの描いた大壁画『()』と…
()は、現世の権力を追求する聖職者や王…
モンテーニュは『()』を著し、自己を見…
イギリス経験論を確立したのは()であっ…
17世紀には、バロック芸術が盛んになった。そ…
18世紀には、繊細優美なロココ式の美術が広が…
文学では、17世紀にミルトンは『()』…
イギリスでは()を創始とする経験論(帰…
王は神以外の何人によっても制限を受けないとい…
重商主義者でレイ14世の蔵相だったのは(…
17世紀後半から18世紀にかけて科学技術も発…
18世紀にイギリスにおこった産業革命は、技術…

1785年、()は力織機を発明し、織物…

47. 18～20世紀の文化

ドイツでは、18世紀末ごろ古典主義が発達し、…

19世紀のドイツのロマン主義者()は『…

19世紀のイギリスのロマン主義者()は…

19世紀後半から人生の真実をありのままに表現…

19世紀後半からの写実主義・自然主義の影響を…

18世紀末に()は量的功利主義で‘最大…

実存主義の先駆者であり、『死にいたる病』の著…

()はロマン主義の画家で、七月革命を象…

経済学では、『人口論』を著したのが()…

19世紀から20世紀には、近代科学が発展し、…

20世紀にはいると、スイスに亡命していたフラ…